

令和4年度 1年生

探究Mission

「災害に備え、支え合い地域プロジェクトを立ち上げよ」

～福祉のまちづくり推進課～

3組1班

**秋栴、山邊、加納、
浅田、高塚**

ミッション

**災害時に備え “支え愛” 地域
プロジェクト を立ち上げよ!!**

これから1班の発表を始めます。

よろしくお願ひします。

僕達のミッションは、『災害時に
備え支え愛地域プロジェクトを立
ち上げよ!!』です。

災害とは？

まずはじめに災害についてです。

自然の予期せぬ変動 が原因で起こること



災害とは自然の予期せぬ変動が原因で起こることです。

自然災害の種類

次に自然災害の種類です。



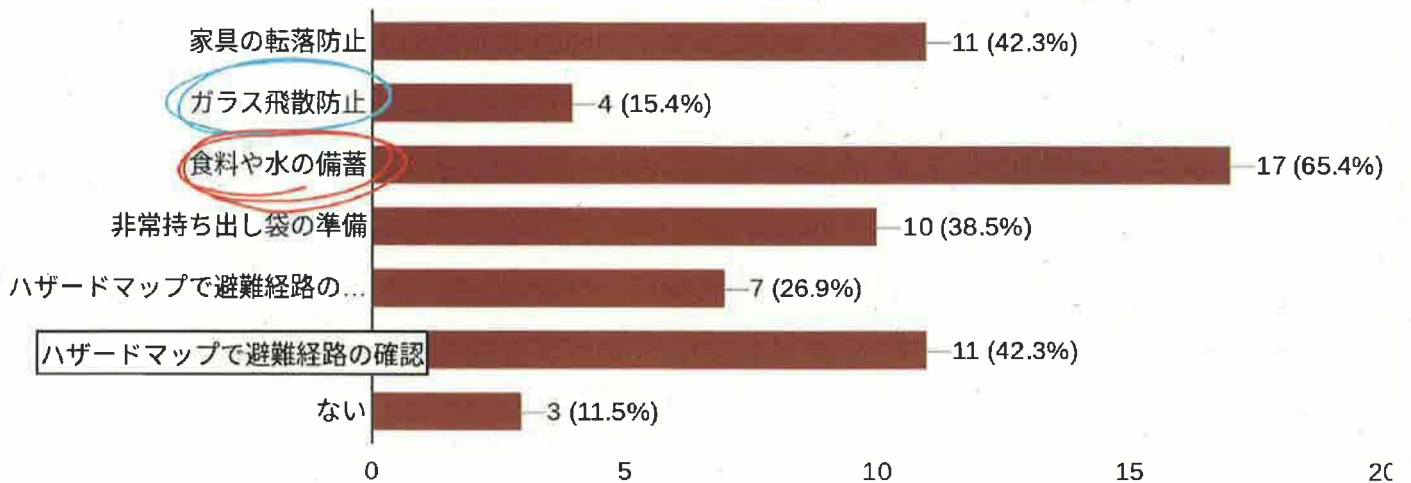
自然災害には津波や土砂崩れ、地震などのたくさんの種類があります。

アンケート結果

次にアンケート結果です。

災害が起きたときのためにどのような対策をしていますか？（すべて）

26件の回答



これは1年3組の26人に行ったアンケートです。食料や水の備蓄が1番多くその反面ガラスの飛散防止をしている人が非常に少ないことが分かります。

アンケートの結果から○**食料や水の備蓄**は手軽にすることができるが▲**ガラスの飛散**を対策するのは難しい。



このアンケート結果から食料や水の備蓄は手軽にすることができるが、ガラスの飛散を対策するのは難しいことが分かります。

ガラスが飛散するという危険性が
非常に高い



なので、ガラスが飛散して怪我を
してしまいます可能性が極めて高いで
す。

ガラスなどで**怪我**をしない
ようにするには…



ガラスが飛散してしまうと足などが
切れてしまう可能性があります。そ
こで、ガラスで足などが切れないよ
うにするために

→スリッパを履く



対策 スリッパ



スリッパを履くということが有効だと考えられます。なので、日常的にスリッパを履くという習慣をつけることが大切だと考えます。

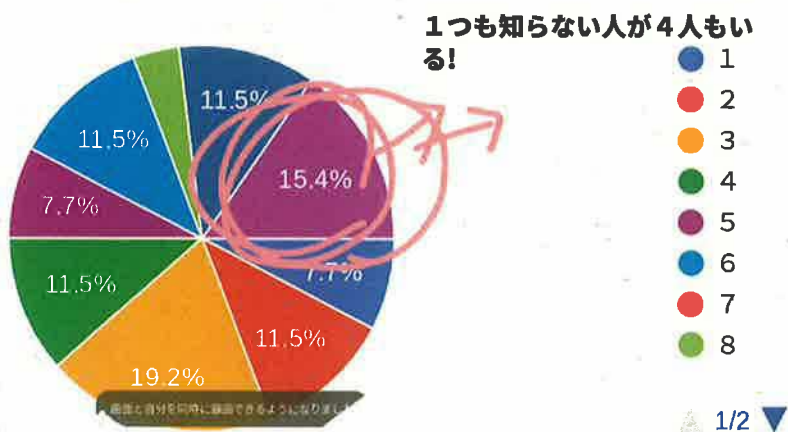
危ない箇所についての アンケート結果

次に危ない箇所についてのアンケートです。

危ない箇所についてのアンケート結果

自分の地域で危ない箇所をいくつ知っていますか？

26 件の回答



このアンケートは1年3組26人にとつたアンケートです。

このアンケートは自分の地域で危ない箇所をいくつ知っているかのアンケートです。

26人中15,4%、4人が危ない箇所を1つも知らないということが分かりました。

災害が起こったときに危ない場所を知っている人が**少ない!!**



このアンケートから災害が起こったときに危ない場所を知っている人が少ないです。

アンケート結果



もっと災害が起こったときに危ない場所を伝えられるようにハザードマップについて詳しく知ってもらおう。



なので、このアンケート結果からもっと災害が起こったときに危ない場所を知ってもらえるようにハザードマップについて知ってもらって是非、危ない場所を知ってもらおうと思います。



ハザードマップとは？

まず、ハザードマップとはです。



災害が発生したときに危険と思われる箇所や災害時の避難場所などを地図にまとめたもの



ハザードマップとは災害が発生したときに危険と思われる箇所や災害時の避難場所などを地図にまとめたものです。



災害の種類によって ハザードマップも異なる

ハザードマップは災害の種類によって異なります。種類によってマップが異なるため、避難場所なども書いてあり、とても見やすくなっています。

ハザードマップを家族で確認して避難場所などを決めておくといい!!

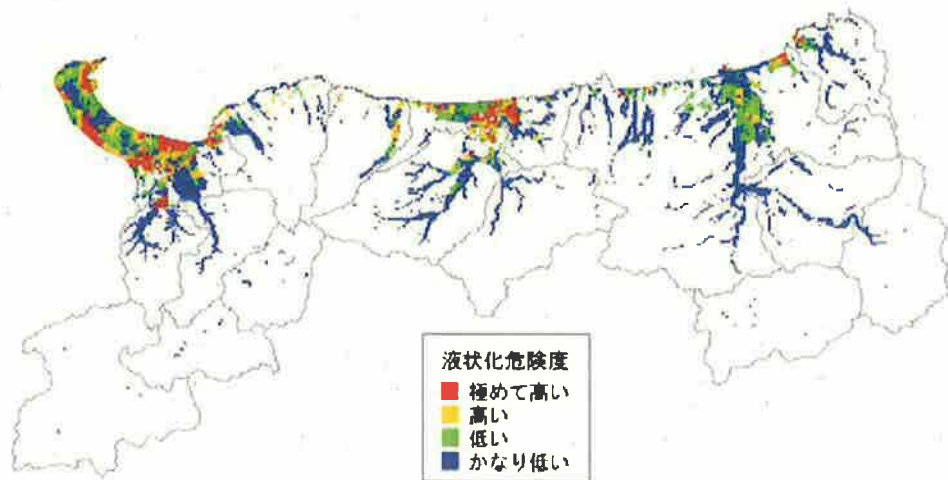


また、家族で避難場所などを確認すると良いと思います。是非確認してみてください

米子市の 取り組み

次に米子市の取り組みです。

米子市と日吉津村が共同で、**ハザードマップ**を作り、マップを制作した。



米子市と日吉津村が共同で、ハザードマップを作りマップを制作しました。

米子市の成果

次に米子市の成果です。

- **避難経路**、災害時の**危険場所**の確認
- **日吉津村**にいるときの緊急時にも対応できた。



家庭などで、避難経路や災害時の危険場所を確認することができました。また、日吉津村のハザードマップも確認できるため、その時の緊急時でも対応できました。

自分たちにできること（普段）

- ・ **ハザードマップの確認**
- ・ **非常時出品の準備**
- ・ **非常用持ち出し袋の準備**
- ・ **排水溝などの手入れ**
- ・ **家具の配置の工夫**
- ・ **家具は金具で固定**



次に、普段私達にできることです。ハザードマップの確認、非常時出品の準備、非常用持ち出し袋の準備、排水溝などの手入れ、家具の配置の工夫、家具は金具で固定することができると思います。

これは、日頃から準備しておきたい非常時出品です。1人1日3リットルの飲料水、食料3日分、緊急医療品や、常備薬、懐中電灯、携帯ラジオや電池、お金、貴重品、下着、防寒着などがあります。

私達の取り組み

次に私達の取り組みです。

プログラミングで災害に関する
クイズを作って車尾・啓成小学
校の人に、学んでもらう!!



私達はプログラミングで災害に関するクイズを作って、車尾と啓成小学校の人たちに学んでもらうことです。

私達の成果

次に私達の成果です。

<https://scratch.mit.edu/projects/editor/?tutorial=getStarted>

自分たちで作りました!!



避難するときの格好は動きやすい薄着にする

思うならAボタン

だと思えばBボタン

クイズ

私達はプログラミングでクイズを作りました。
今日は実際にやってみたいと思います。

クイズにすることで小学校
の人たち（車尾、啓成）
に、**わかりやすく**学んでも
らうことができる。



クイズにすることで車尾・啓成小
学校の人たちに分かりやすく学ん
でもらうことができます。

プログラミングでクイズをつくる
ことによって、**より楽しく**覚えて
もらうことができる。



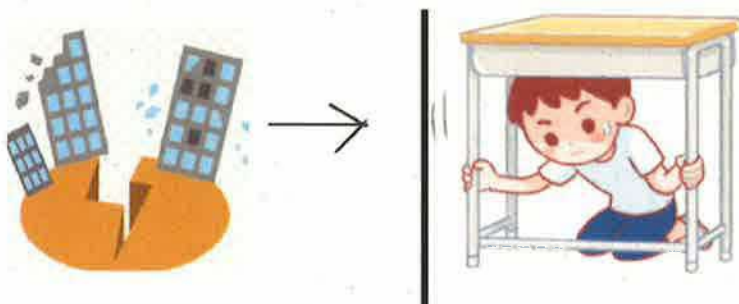
また、プログラミングにすることでより楽しく覚えてもらうことができます。

まとめ

最後にまとめです。

まとめ

クイズを作って災害についてわかりやすく学んでもらえ本当に災害が起きたときにと落ち着いて行動できると思います。



本当に災害が起こった

落ち着いて行動できる

クイズにすることで災害についてわかりやすく学んでもらえ、本当に災害が起きたときにと落ち着いて行動できると思います。
これで終わります。

情熱



探究の道のり



発表本番
プレゼンで今までしてきた
努力の成果を発揮するこ
うができた イエ〜イ

吹き出しをつけて
わかりやすくした

クイズ制作中!

米子の魅力を伝えるフォトポスター
をつくり米子の魅力を伝えた。
(稲田写真館さん、米子市役所の方々に)

期間

カチ



カチ

僕達が作ったクイズがコンテスト
に出ることになった
よっしゃ〜

ミッションが決まり少しだ
けやる気が上がった↑

なかなかアイデアが浮かばず難航した(ToT)

音源を探すの
が大変だった

スライドがなかなか出来ず危機

エキスカーションに
行ったことで災害の
恐ろしさや課題が知
れた



やりたかったミッションの
じゃんけん に負
けてやる気が暴下がり



進度

災害時に備え支え愛地域プロジェクトを立ち上げよ!!

国語

プレゼンのスキル

数学

グラフで比較

社会

- ・ハザードマップ
- ・地形

美術

見やすい
スライド

プログラミングで クイズを自作!!

技術

プログラミング
のスキル

保健

避難場所、避難経路
非常時出品

理科 災害

SDGs

11. 「住み続けられ
るまちづくりを」

